



# 上野小学校だより

ふるさとを愛し、心豊かでたくましく、自ら学ぶ児童の育成



令和7年2月28日  
第12号  
勝浦市立上野小学校

HP <http://www.chiba-a.jp/ueno-e/>

あたたかな南風に梅の香が漂い、本格的な春の訪れを感じます。学校では、いよいよ学年のまとめの時期になりました。卒業の日が近づいてきた6年生は、卒業文集の作成や在校生に送る卒業制作への取り組みなど、忙しい毎日を送っています。また、5年生は、6年生を送る会を企画・運営したり、6年生の様々な活動を引き継いだりと積極的に活動しています。学年のまとめをしっかりとし、それぞれの春に向かって準備が進められています。

## 興津小学校との交流 ～大縄跳び大会～

令和8年度から統合する興津小学校のみなさんと、全校なわとび交流会を行いました。興津小、上野小の混合4チームで、8の字とびの回数を競います。作戦タイムでは跳ぶ順番や跳ぶ時の注意を確認。円陣を組み、気合を入れるといよいよ競技開始です。どのグループも大きな声で



数を数えながら次々に縄を跳んでいき、笑顔いっぱいの和やかな交流会となりました。これからも、様々な場面で興津小学校のお友達と交流を深めていきたいと思います。

## 房州うちわづくりを体験 ～4年生～



4年生が校外学習で「房州うちわ」の制作体験をしました。竹で作った骨を少しずつ広げながら、のりで和紙を貼り付けをする作業は難しく苦戦していましたが、皆最後まで熱心に作業に取り組んでいました。骨を型に合わせて切り、うちわが完成すると早速、あおいで感触を確かめ、「プラスチックのうちわより軽い。」など、感想を話し合っていました。伝統工芸を守り続ける職人さんの思いにも触れることができました。

## 入学説明会・体験入学

2月7日、4月に入学する14名のお友達が、1年生、5年生と交流しました。1年生教室では、算数の授業を体験。1年生と一緒に買い物ごっこをしました。5年生とは、絵本の読み聞かせや、ゲームで楽しく交流しました。14名のみなさんが入学する日を楽しみにしています。



### 3月の予定

- 3月3日(月) 全校朝会 体重測定(低)
- 委員会活動
- 4日(火) 6年生を送る会(5校時)
- 学校関係者評価委員会
- 卒業式練習開始 体重測定(高)
- 5日(水) 地区児童会
- 6日(木) スクールカウンセラー勤務日
- 7日(金) 大掃除 ワックスかけ
- 10日(月) クラブ活動

### 4月の主な予定

- 11日(火) 卒業式予行
- 14日(金) 卒業証書授与式
- 19日(水) PTA評議員会 19:00～
- 20日(木) 祝: 春分の日
- 24日(金) 令和6年度修了式 給食最終日
- 25日(土) 学年末休業(～3/31)
- 4月1日(火) 学年始め休業(～4/6)
- 7日(月) 令和7年度始業式
- 9日(水) 入学式
- 25日(金) 授業参観 PTA 総会
- 学級懇談会

◇離任式について・・・学年末休業中の離任式は行いません。

24日の修了式後に、転出職員の紹介と児童へのあいさつを行います。

## 子どもの問題解決能力を育てるために

学校は、子どもたちの社会性を育む場です。みんなで学ぶことや、協力して活動することの楽しさをたくさん経験していきます。一方で、お友達とけんかをしたり、気持ちがすれ違ったりして、悩むこともあります。どちらも、お子様の成長過程には必要な経験です。では、問題にぶつかったとき、自分で考え解決する力は、どのように育んだらよいのでしょうか。以下は、先日行った入学説明会で配付した家庭教育の資料です。参考にさせていただけたらと思います。

## 子ども同士のけんかにどう対応する？子どもの問題解決能力を育てる導き方とは

小学校に入ると、保護者の知らないところで子ども同士のトラブルが起きることがあります。あとからトラブルがあったことを知り、あわててしまうこともあるでしょう。子ども同士がけんかをしたとき、どのような対応をするのが正解なのでしょう。

### 低学年の子どもはけんかをしやすい

小学校低学年ではまだまだ精神面の発達が未熟で、「自己中心性」な発達段階にあります。「自己中心性」というのは、自分視点でしか物事が見られないという性質で、たとえば、自分が思っていることは相手も同じように思っていると考ええるようなことです。そのため、お互いの気持ちがすれていることに気がつきにくく、けんかに発展しやすいのです。また、感情をコントロールする脳の「前頭葉」の発達が未熟なため、ちょっとしたことで怒りが爆発しやすいということもあります。

「けんか」と聞くと、大人はハラハラしてしまうものですが、基本的に子どもはいらだちや怒りをがまんするのが難しく、けんかをしやすいものと考えておくとういでしょう。

### 子ども同士のけんかにどのように対応したらいいのか

#### 1 まずは子どもの言い分を聞く

友達とけんかをしてきた子どもは、怒りがおさまらなかつたり悲しかったりと、気持ちが落ち着かない状態です。まずは、子どもの言い分をしっかりと聞いてあげましょう。途中で話を遮ったり、大人としての意見を言ったりせず、子どもが言いたいことをすべて言い終わるまで聞いてあげることが大切です。子どもが自分の気持ちをわかってほしいのは、誰よりも保護者の方だからです。保護者の方が自分の気持ちを受け止めてくれることで、子どもも気持ちが落ち着き冷静さを取り戻せるはずです。

#### 2 冷静な視点を持つ

子どもはけんかをした相手が悪いと思っているので、どうしても話が一方的になりがちです。わが子を信じることも大切ですが、子どもの話を冷静に受け止める姿勢も持つようにしましょう。トラブルの原因が何だったのか、解決策がどこにあるかを落ち着いて判断することで、解決の糸口がつかめるはずです。

#### 3 相手の気持ちを想像するよう促す

しっかりと話を聞き子どもの気持ちが落ち着いてきたら、相手の気持ちを想像するよう話を進めましょう。「〇〇ちゃんはどうしてそんなことしたのかな？」「どんな気持ちがしたんだろうね」などと声をかけ、子ども自身に考えさせていきます。

#### 4 子ども自身に解決策を考えさせる

相手の気持ちをいろいろ想像し、「こうすればよかった」「こう言えばけんかにならなかったかもしれない」といったことを子どもが理解したら、解決策を考えるよう促しましょう。「明日会ったら何て言えばいいと思う？」「どういう風に話せばいいのかな？」と質問し、子ども自身にどうやって事態を収めたらいいのか考えさせるようにしましょう。ポイントは保護者自身が子どものけんかに直接関わるのではなく、子どもが解決に至るようサポートするという姿勢です。けんかそのものは嫌なものですが、けんかを通して問題解決の力をつけていくと考えるとよいでしょう。

#### 5 けがをしたときは学校に確認！子どもの言動や性格を否定せず解決に導くこと

けんかをしてけがをしたり、反対にけがをさせたりしたときには、必ず学校に詳細を確認しましょう。その場合は子どもに任せるのではなく、保護者の方が連絡をとる必要があります。

子どものけんかに親が出るのはよくないのではないかなと思うかもしれませんが、けがをした場合は別です。後々トラブルになるのを防ぐためにも、学校で起きたことは学校で対応してもらうのが基本です。双方の話に食い違いが生じないように、けんかの内容をよく確認しましょう。

また、「あなたがしつこくしたからじゃないの」「ノロノロしているから相手が怒るんでしょ」などと、子どもの言動や性格を否定するのもNGです。頭ごなしに否定されると子どもは保護者に裏切られた気持ちになり、信頼関係にひびが入ることにもなりかねません。わが子の方が悪いのではないかな……と思って、ひとまず最後まで子どもの話を聞き、くやしい気持ちや悲しい気持ちを受け止めてあげましょう。けんかをきっかけに、相手の気持ちを思いやることや自分の行動を振り返ることができれば、子どもの成長につながります。適切な対応で、うまく解決につながれば幸いです。

【学研 HP より】